

るゐてめ求を者導指は界藝工印佛

— 觀參所導指藝工家術藝印佛 —

國際文化振興會主催にかゝる佛印理

代美術展覽會は多大の反響を呼び、日

佛印文化提携に大きい役割を果たした。

その作品の一部は既に八月號に紹介

したが、この展覽會を機縁に佛印から

グエン・ワン・トー（阮南山）氏外二

名の藝術使節が來朝、多忙なる滞京期

間の一日を割いて本所を訪れ、多大の

興味と感銘を得て歸國した。

○日時 八月十七日午前十時

○指導所の説明 設立の目的、機構

事業方針等

○陳列室見學 試作品その他の出品

物に就いて技術的の質疑應答

（漆皮、合板、打込家器等）

○懇談 本所側—齋藤所長、安倍技

師、松田屬託

佛印側—グエン・ワン・トー氏、

ルオン・スアン・ニイ氏、グ

エンワン・テイー氏

國際文化振興會—村松嘉洋

本所側の質問に對しグエン・ワン・

トー氏は一行を代表し、感想や抱

負を織りまぜつゝ次の様に語つた

— 本所陳列品參觀の感想 —

藝術品に科學的技術を使用してゐる

點に感心いたしました。殊に漆の研究

や、特殊合板に就いての科學的な處理

法には絶大の興味と讚歎を覺えます。

個々の品物について夫々近代的な美し

さと、生活用途に即した合理性をすく

に讀みとることが出来ます。私達の常

に求めてゐるものをこゝに見出すこと

が出来ました。

— 佛印工藝界の現状 —

佛印では仕事する人達みんな指導者

がないのでんでに勝手な方向に昔の

まゝの方法でやつて來てゐます。技術

の進歩發展がありません。指導機關と

して Ecole des beaux-arts がそう云ふ

目的から生れたのですが、まだ實現の

域に達してはゐません。

職人達は傳統的な技法をそのまま子

弟に傳へてゐるだけです。例へばハノ

イ附近に竹細工をする村、紙をすく村

等いろいろ集團となつて仕事をしてゐ

ますが、適當な指導機關もなければ、

それをうまく運営する經濟的餘裕もな

い。生活出来る範圍でやつてゐる程度

です。

實はこゝにあるヴン・テイーさんなどが今まで非常に澤山の仕事を實際に指導して來てゐるので、漆に就いては相當に進歩して來ました。それと同様な方法をとることによつて他の方面も進歩することであらう。私達關係者は工藝美術全般に指導を與へて進歩發展を計りたいと今も努力してゐる様なわけです。

— 一般人の購買力 —

殊に北部と中部には金持が少く、多くて十萬二十萬程度ですから購買力が多いとは云へません。従つて作つた物を消化させるためには、餘り高價なものでは駄目です。

生活を快く豊かにするためには安價でそして藝術的なものでなくてはなりません。

— 佛印と日本との共通性 —

生活様式が殆ど同じですのでいきほひそれに使用されるもの—工藝品—にも共通な性格がにじみ出てゐて私達にもすぐ理解出來ます、お茶を入れる土瓶とか、木の根で作つたものなどはあちらで大變喜ばれます。

最近日本から歸つたラコロニ氏なんかはパイプや色々な形の花器などを澤山持つて歸つてそれが非常に受けました。もつともそれは藝術品と云ふ意味ではなく田舎趣味で面白いのですが、それから、フランスのモチーフを使用することは殆どありません。技術的にはフランスの影響を受けてゐてもモチーフはあくまで何千年來昔から今に傳はつてゐる東洋的のものであります。然しカンボチャになると又少し事情が異つて參りますが。

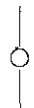
— 日本への要項事項 —

最近日本で佛印に漆の指導機關を設立されるとか云ふお話を伺つたのがほんとうですか？ われ／＼の切望するところで一日も早く實現させてほしいものです。

私共はもつと積極的に仕事をして行くために日本がその道の指導者を差し向けて下さることを希望します。各縣に少くとも二名位づゝです。そして古い傳統を保存すると共に新しい技法による藝術味のあるものを作りたいと思つてゐます。こう云ふ様な意味で人と

物との交流を頻繁にすることがのぞましいです。

われ／＼専門的の立場からも今後いろ／＼と便宜を與へていただきたいと思ひます。



佛印藝術家達は滞在期間の短かきにも拘らず世界の強國を相手にして戦つてゐる日本の武力の威大さに驚くと共に、その反面彼等の眼に映じた日本の文化、藝術に少なからぬ共感と信頼の念を持つに至つたであらうことを疑はぬ。

彼等の體得したあらゆる部面の收穫が故國の藝術界にどの様な形となつてあらはれ、如何様に寄與するかは今後に期して待つべきも、東亞共榮圈の指導的立場にあるわが日本が餘裕のある限り彼等の希望を一日も早く適へてやり、共存共榮の實を擧げるべく努力することも又おろそかには出來ないことだらう。

三氏 略 歴

グエン・ヴン・トイ 雅號 南山 (ナムサン) 一八九九年河内生れ、ジャン・ピエ

ール・ローラン及びヴィクトール・タルデイユに師事。河内印度支那高等美術學校教授。巴里佛蘭西美術家協會役員。

河内、安南美術工藝獎勵協會副會長、現審査員。佛蘭西政府買上品、國立美術館收藏の作品多數あり。

ルオン・スアン・ニー 一九一三年河内生れ、タルデイユ門下。

主要作品「村のキャバレー」、ニユーヨーク國際商業機械組合美術館出品 グエン・ヴン・テイー

一九一九年、ヴィニユン生れ、南山、タルデイユ、フンゲルベルティに師事。

漆畫專攻。安南美術工藝獎勵協會展覽會に特選獲得、一九三八年度アンコール賞に入賞。

(松田囑託記)

(寫眞) 工藝指導所參觀の佛印藝術家 左より

- グエン・ヴン・トイ氏
グエン・ヴン・テイー氏
ルオン・スアン・ニー氏